



東京電力エネルギーパートナー

2024年10月15日

コスモエネルギーホールディングス株式会社

コスモエコパワー株式会社

東京地下鉄株式会社

東京電力エネルギーパートナー株式会社

## 鉄道業界初、東京メトロが陸上風力バーチャル PPA を導入 銀座線の使用電力を一部実質再エネ化

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモエコパワー株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：野地 雅禎、以下「コスモエコパワー」）、東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）、東京電力エネルギーパートナー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長崎 桃子、以下「東京電力 EP」）は、2024年9月27日付で、陸上風力を活用したバーチャル PPA（非 FIT 発電設備※1における発電に係る環境価値の提供に関する契約、以下「本 PPA」）を締結しました。

コーポレート PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）は、需要家が発電事業者から直接再生可能エネルギーを購入する契約形態であり、バーチャル PPA※2 とは、需要家の敷地外に立地する専用発電所で発電された再生可能エネルギーの環境価値のみを需要家が調達する手段です。国内の鉄道業界における陸上風力を活用したバーチャル PPA の導入は、本件が初めての事例です※3。

本 PPA の締結により、東京メトロは、コスモエコパワーが運営する姫神ウィンドパークから、発電にともない生み出される年間約 2,100 万 kWh 分の環境価値を、非化石証書として約 15 年間にわたり受け取ります。これにより東京メトロは、銀座線で使用する電力を一部実質再生可能エネルギー化し、CO<sub>2</sub>排出量を年間約 8,190 トン削減できる見込みです。

4社はカーボンニュートラルと持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進すべく、今後も継続して再生可能エネルギーの活用を積極的に進めてまいります。

※1：FIT 制度（固定価格買取制度）の適用を受けていない発電設備

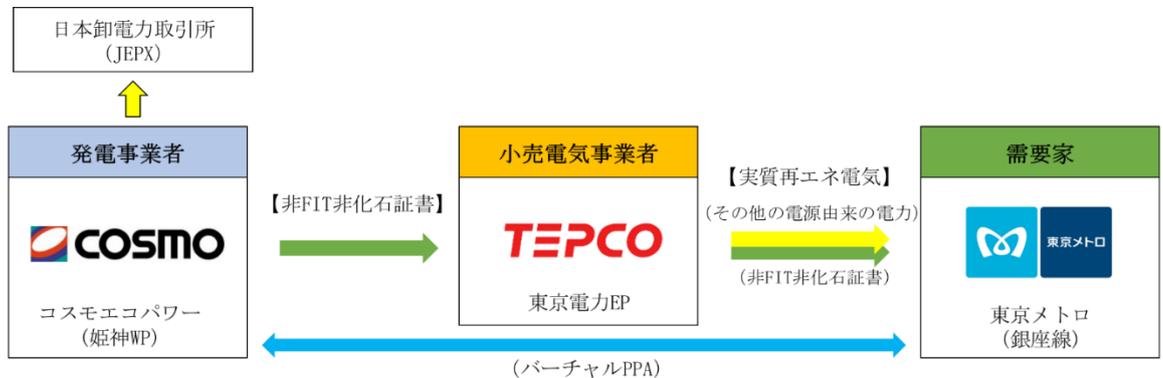
※2：2022 年 3 月以前に運転開始された再生可能エネルギーの環境価値を対象とするバーチャル PPA の場合は、電力供給を担う小売電気事業者を通じて需要家に供給することが義務付けられている

※3：対外公表ベースで、国内の鉄道業界では初の導入事例

## 陸上風力を活用したバーチャル PPA について

### 1. 陸上風力を活用したバーチャルPPAの導入

- ・コスモエコパワーは運営する姫神ウィンドパークから、約 15 年間にわたり、発電にともない生み出される年間約 2,100 万 kWh 分の非化石証書を東京電力 EP に提供します。また、発電した電力は一般社団法人日本卸電力取引所に売却します。
- ・東京電力 EP は、姫神ウィンドパーク由来の非化石証書を、他の発電事業者から調達した電力と組み合わせて提供します。
- ・東京メトロは、本スキームを利用することで、銀座線の使用電力を一部実質再エネ化します。



姫神ウィンドパーク



東京メトロ銀座線 1000 系車両

#### ◆姫神ウィンドパーク概要

所在地	岩手県盛岡市内 姫神山南部の山麓
運転開始年月	2019 年 4 月
設備能力	18,000kW (2,000kW × 9 基)

## 2. 会社概要

社名	コスモエコパワー株式会社
代表者	代表取締役社長 野地 雅禎
所在地	東京都品川区大崎一丁目6番1号
設立年月日	1997年7月1日
事業概要	風力発電による売電事業等
資本金	71億6480万円
カーボンニュートラルに向けた取り組み	コスモエネルギーグループの一員として「2050年カーボンネットゼロ」の実現をめざしています。国が定める再生可能エネルギーのFIT制度からFIP制度への移行が進むなか、本件から得られたノウハウは、将来的に参画をめざしている洋上風力発電所や陸上風力発電所の開発・運営に活かされ、日本の再生可能エネルギー主力電源化に貢献することが期待できます。

社名	東京地下鉄株式会社
代表者	代表取締役社長 山村 明義
所在地	東京都台東区東上野三丁目19番6号
設立年月日	2004年4月1日
事業概要	旅客鉄道事業の運営、都市・生活創造事業の運営
資本金	581億円
カーボンニュートラルに向けた取り組み	2021年3月に長期環境目標「メトロCO <sub>2</sub> ゼロ チャレンジ 2050」を設定し、東京メトログループ全事業が排出するCO <sub>2</sub> 量について、「2030年度-50%（2013年度比）、2050年度実質ゼロ」をめざしています。これまでもエネルギー効率に優れた車両や環境負荷の少ない設備等を導入してきました。今後も目標達成にむけて、バーチャルPPAをはじめとした多様な手段を用いて再生可能エネルギーの活用をさらに推進し、「安心で、持続可能な社会」の実現に貢献してまいります。

<b>社名</b>	東京電力エナジーパートナー株式会社
<b>代表者</b>	代表取締役社長 長崎 桃子
<b>所在地</b>	東京都中央区銀座八丁目 13 番 1 号銀座三井ビルディング
<b>設立年月日</b>	2015年4月1日
<b>事業概要</b>	小売電気事業・ガス事業
<b>資本金</b>	2,600億円
<b>カーボンニュートラルに向けた取り組み</b>	本 PPA を含む、多彩なメニューの提供を通じて、各種制度への対応や安定的な電源の確保等、再エネの活用におけるお客さまの様々な課題を解決し、お客さまとともにカーボンニュートラル社会の実現に寄与してまいります。

以上